

沖縄県立精和病院だより

かけはし

～ 「こころの架け橋」を目指して ～

理念

こころ病む人を支え
共に歩む



看護部長就任挨拶

看護部 看護部長 兼久 正二



今年度、看護部長を拝命いたしました兼久正二と申します。精和病院で精神科看護を学び、八重山病院、北部病院を経て、師長として精和病院、副看護部長として精和病院、宮古病院で勤め、今年度より看護部長となりました。ここまで導いてくださった諸先輩方、関係者各位に感謝申し上げます。

さて、現在の精和病院は、移転統合に向けた取り組みと同時に、築39年の老朽化に伴う病院機能の維持が課題です。施設の老朽化問題と併せて、病院敷地内の一部が土砂災害警戒区域に指定されたこと、精神科医療のニーズに合わせる必要があること、身体合併症への対応ができること等を目指し移転統合が決定しています。しかし、近年の厳しい経営や物価高騰による建設費増など、まだまだ解決する問題があり、移転統合が長引くことが予想されます。その間は、老朽化に伴う病院機能の維持をしていかなければなりません。今は、設備担当をはじめ職員一丸となって修繕に努めています。そのような事情のある病院ですが、看護ができる事を実践し、気持ちのよい空間の提供を考えています。清潔な環境の提供、挨拶やこまめな声かけなどを通して利用する方々へ、安心、安全、満足感を感じてもらえるような取り組みを行っていきたいと考えています。

看護部では、県立病院全体のセル看護提供方式の導入に従い、三重県立病院など先行する病院を手本に導入計画が進んでいます。また、今年度6月より、職員の要望に応えるかたちで、一病棟で変則二交代制を導入しています。変化を恐れず、前進して行きたいと考えています。他に、看護部には、精神科専門看護師（特定行為研修終了予定）、精神科認定看護師、感染症管理認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師、CVPPPインストラクター、DPAT隊員、災害支援看護師など様々な人材がそろっています。彼らを通じた地域貢献ができればと考えています。研修の講師等、ご要望があれば派遣する事は可能です。是非ご相談ください。

最後に、沖縄県民の医療・看護に貢献できるように、看護部一同力を合わせて頑張って参ります。

新任の挨拶

事務部 事務部長 平田 いずみ

4月より病院総務事務センターから異動してきました平田いずみと申します。病院現場に戻ってきたのは19年ぶりです。旧那覇病院で薬品担当をしていました。昔に比べると、コロナ禍を経て、病院事業そのものに世間の注目が集まるようになった、というのを実感するところです。

法令や院内のルールを遵守することは、みなさまの自分自身の立場を守ることに繋がります。万が一誤った行為をした場合でも、すぐに上司に報告し、再発を防ぐ対策を病院全体で一緒に考えていきましょう。

久々の病院現場でとまどうことが多いですが、いろんなルールをアップデートして、適正適切な病院運営に寄与したいと思っています。これからよろしくお願いします。

医局 医師 菊地 龍佑

2024年度4～11月までお世話になりました菊地龍佑と申します。山形県立こころの医療センター、日本海総合病院で研修を積み、この度後期研修終了後、精和病院で再度お世話になることになりました。今後も自分自身より成長し日々精進していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

医局 医師 大城 哲朗

沖縄協同病院で初期研修を終え、今年の4月から専攻医として勤務しております大城哲朗と申します。患者様一人一人に寄り添い、丁寧な診療を心がけて参りたいと思っています。至らない点も多いと思いますが、ご指導の程宜しく申し上げます。

医局 医師 大城 悠渡

3月に水戸済生会病院で初期研修を終え、今年度より専攻医としてお世話になっております大城悠渡と申します。至らぬ点は多々あると思いますが、多くの事を学ばせて頂き、沖縄県の精神科医療の役に立てるよう日々精進して参りますので、医局、看護師、コメディカルの方を含めご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

栄養管理室 室長 下地 恵美

八重山病院から異動してきました栄養管理室の下地恵美と申します。栄養管理室の理念「患者様に安全でおいしい食事の提供と個々に合わせた栄養管理を行う」を目標に、栄養管理室スタッフ一同、業務に取り組みたいと思います。何卒よろしくお願い致します。

看護部 副看護部長 伊禮門 肇

このたび4月1日付で副看護部長を拝命いたしました伊禮門肇と申します。これまで培ってまいりました看護師としての経験と管理職としての知見を活かし、看護部の一員として、皆様と力を合わせながらより良い組織づくりに取り組んでまいります。特に、職員がいきいきと働ける職場環境の整備、患者様にとって安心・安全で快適な療養環境の充実、そして看護の視点からの経営改善への貢献を重点課題として掲げております。現場の声に耳を傾け、課題を共有しながら、一步一步着実に改善を進めていきたいと考えています。

まだまだ未熟な点多々ございますが、どうぞ皆様の温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

東2病棟 師長 田原 千恵子

はじめまして。4月より南部医療センター・こども医療センターから転勤してきました田原千恵子と申します。精和病院の素直な患者さん達と向き合う中で、身体科も精神科も看護の本質は一緒だなと感じています。院内No1の賑やかさ！東2病棟！その中に患者さんとスタッフの笑顔もあふれるような環境作りができるよう頑張りたいです。どうぞよろしくお願い致します。

東3病棟 師長 山内 寿子

はじめまして。南部医療センター・こども医療センターから赴任しました山内寿子と申します。精和病院は学生時代に実習でお世話になって以来です。あの頃あった運動場が駐車場になっていたり、敷地内禁煙となっていたりと時の流れを感じております。

精神科看護については新人なので、皆様にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

地域連携・医療福祉相談室 新垣 あゆみ

はじめまして。北部病院から異動となりました新垣あゆみと申します。「地域連携室を精和のオアシスに☆」のモットーを受け継ぎ（部署に大きく掲げられています！）、病院内外の心の架け橋となれますよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



入退院支援カンファレンスについて

地域連携室 看護師 神里 加代子

総合病院だけでなく精神科病院においても、患者が早期に退院し医療、障害福祉、介護等のサービスが切れ目なく受けられるように、入院早期から包括的支援マネジメントに基づく入退院支援が求められています。その支援を検討する最初の段階が、入退院支援カンファレンスです。

入退院支援カンファレンスは、実施する前に、退院困難な要因を明らかにし、患者や家族の意思や希望を確認します。その後、病棟看護師、入退院支援看護師、精神保健福祉士2名の4名以上で、入院7日以内に入退院支援カンファレンスを行います。医師の方針や意見については、記録や直接確認し、カンファレンスへ反映させています。そして、カンファレンスで決定したことについては、退院支援計画書に表記し、患者家族へ説明し、計画書に沿って退院支援計画を患者と共に進めていきます。

当院急性期病棟の令和6年度特徴として、入院形態別割合は、任意入院が61%、医療保護入院31%、措置入院8%でした。また、退院困難な要因は、①包括的マネジメント導入基準のうち1項目以上満たすもの②入退院を繰り返している③必要な養育、介護の提供がないという理由で約60%を示し、退院困難な要因がない患者は9%でした。ほとんどの患者は退院困難な問題を抱えており支援を必要としています。

入院患者が必要な支援を受け、地域でより満足する生活を送ることができるよう多職種で関わり、院内外連携していきたいと思っています。



m-ECTの紹介

医局 精神科部長 山川 宗一郎



当院の修正型電気けいれん療法（m-ECT）は日本精神神経学会が評価している「麻酔薬・筋弛緩薬を使用して安全性を高めた治療法」を実施。週2回×5週間、計10回を基本としています。

「けいれん療法」とありますが筋弛緩薬を使用しているため全身けいれんは起きず30～60秒前後の脳波上のけいれんによって病状を改善する治療です。使用機器は2002年に承認された「サイマトロン」。5秒前後の短時間刺激で

効果が得られ、身体への負担軽減に有用とされています。

適応疾患は、入院中の重症うつ病・双極性障害・統合失調症などで、薬物療法の効果が不十分なケースや迅速な症状改善が必要な場合など、日本精神神経学会の適応基準に沿って実施しています。また、安全性確保のため、院外から麻酔科標榜医を招聘して対応。手術室同等の体制で、全身麻酔を行い“眠っている間に終わる治療”で、痛みや不安への配慮も図っています。

今後も専門家による安全で質の高いm-ECTの提供を通じ、患者様とご家族に信頼される精神科医療を目指してまいります。



関係医療機関の皆様へ

こころの連携指導料Ⅱについて

当院は令和4年4月1日より「こころの連携指導料（Ⅱ）」の届出をしております。

当院との連携をご希望の医療機関の皆様は、地域連携・医療福祉相談室までご連絡ください。

沖縄県立精和病院 TEL（代表） 098-889-1390

こころの連携指導料 算定の流れ

こころの連携指導料（Ⅰ）の施設基準に係る届出書にて連携協定を締結



診療情報提供書に「こころの連携指導料（Ⅰ）算定」と記載して下さい
（貴院にて「こころの連携指導料（Ⅰ）」を算定）



患者様のご紹介



患者様にて当院外来の予約をお取り下さい



当院受診（診療情報提供書を持参）



当院にて「こころの連携指導料（Ⅱ）」を算定

初めての受診をお待たせしないために・・・

精神科クリニック様で新規予約に時間を要する場合、一時的に当院へ通院して頂き、予約月にはクリニック様へ紹介させていただきます。

【利点】

- ・早期受診による患者様の不安の解消
- ・クリニック様との連携により必要時、入院相談も可能

